



2学期スタート。始業式の話のキーワードは、「命」と「夢」。

37日間の夏休みが終わりました。2学期の始業式で、私が話した内容のキーワードは、「命」と「夢」です。話の概略をお伝えします。

まず、「命」についてです。今年の夏は、「危険な暑さ」「災害レベルの暑さ」と表現され、熱中症を心配する毎日でした。また、全国では、水難事故や交通事故で尊い命が奪われたことも報道されました。そのような状況の中で、本校生徒が事故やけがなく、元気に2学期のスタートを切ることができたことを皆で喜びたいと思います。しかし、私たちの身のまわりには、様々な危険が潜んでいます。2学期以降も無謀な自転車運転等自分の身を危険にさらすような行為をせず、自分の命は自分で守る行動をとっていきましょう。

次に、「夢」についてです。私が考える「夢」は、将来就きたい職業や進学したい高校だけを言うのではありません。今度の部活動等大会で優勝したい、体育大会でこんな活躍をしたい、明日はこんな自分になりたいなど、近い将来の自分の姿を描くことも含んでいます。そもそも、「夢」はその人の知識と体験から生まれるものです。例えば、こぶし大の知識と体験しかない人は、その中でしか「夢」は描けません。気球くらいの大きさの知識と体験がある人は、その中で多くの「夢」を描くことでしょう。また、「夢を描く」だけなら、単なる空想と同じです。せっかくの夢ですから、実現させる努力をすべきです。だから、必要な知識を得るために勉強するのです。よく体を動かし汗をかくのです。失敗を恐れず体験するのです。受け身ではなく、積極的に挑戦することが必要なのです。2学期は、体育大会や秋桜祭という大きな行事があり、学習でも部活動でも活躍できる機会がたくさんあります。「夢を叶える」行動をしてほしいと思います。「夢を見るより、叶える行動ができるか」という視点で、皆さんの頑張りを期待しています。

家庭でも、ぜひ、こういった視点で応援や声かけをしていただくとありがたいです。

- 命を大切にする。
 - ・ 自分の命は、自分で守る！
- 夢を見るより、叶える行動をする。
 - ・ 夢を見るだけではつまらない。叶える努力を！

夏休み中も、門中生大活躍。そして、様々な体験をしました！

生徒本人はもちろんですが、保護者や町PTA連絡協議会、地域の皆様のおかげで、門川中学校の生徒は様々な体験をさせていただいたり、活躍の場を設定していただいたりしました。このようなことが、始業式で話した「夢を描き、夢を叶える行動」につながっていくのだと信じています。

生徒の活動の一部を写真で紹介します。



↑【町内一斉ラジオ体操の様子—左は生徒会活動でペットボトル回収をしています。右は、中学生が前で模範演技をしています。】



↑【門川町グローバルキャンプの様子—宮崎大学の外国人留学生と英語でコミュニケーションを図っています。】

【門川町中学生海外研修派遣事業の解団式の様子—オーストラリアでのホームステイを終え、出迎えの保護者にお礼のあいさつをしています。】→

